

教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画

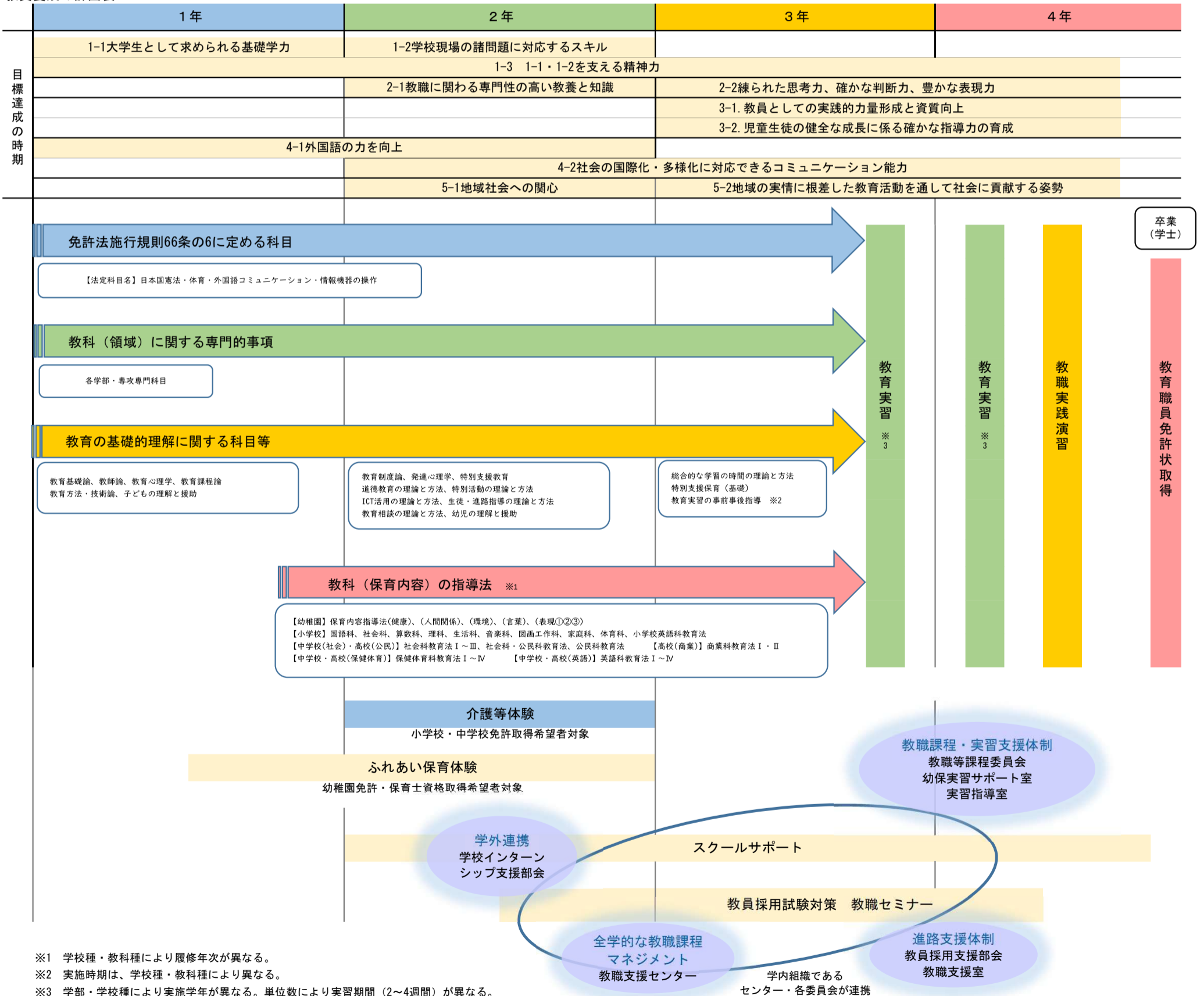
白鷗大学の教員養成の目標は、学び続ける教師を養成するために建学の精神「PLUS ULTRA（さらに向うへ）」の高く広い視野に立って、前を向いて羽ばたくという意味を引き継いで、次の5つを教育目標としています。

1. 大学生として求められる基礎学力の確実な定着とともに、学校現場の諸問題に対応するスキルとそれを支える精神力を養う。
2. 教職に関わる専門性の高い教養と知識の確実な習得をめざし、練られた思考力、確かな判断力と豊かな表現力を育む。
3. 教員としての実践的力量形成と資質向上に向け、児童生徒の健全な成長に係る確かな指導力の育成を図る。
4. 外国語の力を向上させ、社会の国際化・多様化に対応できるコミュニケーション能力を身につける。
5. 地域社会への関心を高め、地域の実情に根差した教育活動を通して社会に貢献する姿勢を育む。

上記の各目標を達成するため、以下のように計画しています。

1. 教養科目と各学部の専門科目（教科・領域に関する専門的事項）の履修を通して基礎学力を、教職課程の科目（教育の基礎的理解に関する科目、各教科・保育内容の指導法）の履修を通して学校現場の諸問題に対応するスキルを身につける。アクティブ・ラーニングを取り入れた授業やゼミナール、卒業研究の履修等、大学における学業を通して上記を支える精神力を養う。
2. 各学部の専門科目（教科・領域に関する専門的事項）と教職課程の科目（各教科・保育内容の指導法、教育実習、教職実践演習）の履修を通して、練られた思考力、確かな判断力と豊かな表現力を育む。
3. 教職課程の科目（各教科・保育内容の指導法、理論及び方法、教育実習、教職実践演習）の履修を通して、確かな指導力を育成する。
4. 外国語の力の向上のため外国人教員による指導を行い、教養科目、各学部の専門科目に国際理解に資する科目、社会、障害、福祉、人権等の社会の多様化の理解に資する科目を開設し、介護等体験を実施している。また、アクティブ・ラーニングを取り入れた授業やゼミナール、卒業研究等を通して国際化・多様化に対応できるコミュニケーション能力を育成する。
5. 各学部の専門科目への地域の理解に資する科目の開設、介護等体験や教育実習等の実施により地域社会への関心を高め、スクールサポート、ふれあい保育体験等の機会提供を行い、社会に貢献する姿勢を育む。

教員養成の計画表



※1 学校種・教科種により履修年次が異なる。
 ※2 実施時期は、学校種・教科種により異なる。
 ※3 学部・学校種により実施学年が異なる。単位数により実習期間（2～4週間）が異なる。